

## 学校紹介 木山中学校

# 目指せ！ 誇れる母校へ

本校は、昭和26年に、当時の木山中、津森中、福田中が統合してできた中学校です。県道から校舎まで続く、長い長い道路が大きな特徴です。

今年度は、創立61年目を迎えています。大切にされ、受け継がれてきた精神として、次の【三綱領】があります。

### 「親和協同」「自主創造」「努力実践」

この三綱領を基に、昨年度から学校教育目標として、「心豊かに高め合い、夢を描き、主体的に学び実践する生徒の育成」を掲げて、教育活動を展開しています。現在の生徒数は313人、教職員数は33人です。

大切にしている活動の1つが生徒会活動で、昨年度は、次のテーマを掲げて活動しました。

**3 C** 「C」hance  
「C」hallenge  
「C」hange  
～目指せ！ 誇れる母校へ～

生徒会全体で、「協力しあう木山中」「活気あふれる木山中」「校歌が響く木山中」づくりを柱としながら、立ち止まってのあいさつなどの取り組みを進めてきました。今回は、本校の宝物の中から、次の2つを紹介します。

## 歴史的な宝物

### 【安田市太郎先生公德碑】

校舎西側にある堂々とした石碑。これは、当時の福田村出身で、郡内の小学校長等を歴任され、益城町の初代教育長として、教育の充実発展に寄与された「安田市太郎先生」を讃えた石碑です。本校は、開校時や校舎建築等で大変お世話になりました。

有志の方々によって、昭和42年4月に建立されて以来、本校生徒の育ちを見守り続けています。



安田市太郎先生公德碑

## 絵画の宝物

### 【校長室の絵画】

漁村の生活や日本の美をモチーフとして描かれた油絵の「風景画」。これは、東京在住の画家で、本校の第1回目の卒業生である「増村 寛」氏が、本校の新校舎（現在の校舎）の建築を祝って、昭和57年1月に寄贈されたものです。校長室に潤いを与えながら、教職員の活動や生徒のさまざまな成長を見つめてきた絵画でもあります。



増村氏から寄贈された絵画

学校の歴史をしっかりと受け継ぎながら、卒業生や在校生、教職員にとって「誇れる母校」となり続けるよう、教育活動の充実に努めたいと思っています。